

# に い が た ろうしきょう NEWS

新潟県老人福祉施設協議会広報誌

2018. 12. 20 NO. 34

## 巻頭シリーズ・元気な笑顔が素敵！ すまいる介護マン



1

食堂からテラスに出ると、広々と蒲原平野を見渡せる。渡り廊下でそのまま部屋に戻れるのも便利。



2

(上)中庭を囲むように居室が配置されている。(左)明るく広々とした食堂。(右)吹き抜けの窓から燦々と陽光が注ぐ。

若く見て頂けるのですが、小学校6年生の娘のパパです。



老健で夜勤中、急な病変からチアノーゼに。個人に合わせて観察し変化に気づく大切さを痛感しました。

### すまいるマン 小林孝幸 さん

- 所属 特別養護老人ホーム 新潟あそか苑
- 経歴 1981年1月新潟市生まれ  
新潟北高校～新潟福祉医療専門学校介護福祉学科(当時)～老健勤務・グループホーム勤務を経て現職。ケアマネジャー。
- 趣味 音楽鑑賞・ゲーム・読書



3

理事長が寺院の住職のため、仏壇も。年に一回、法話会も催される。左はかわいい手作り地蔵。



### 特別養護老人ホーム 新潟あそか苑

- 社会福祉法人 啓真会
- 特別養護老人ホーム 80名  
ショートステイ 10名  
デイサービス 29名
- 新潟県新潟市西区大友141-1  
TEL 025-263-8411  
URL <http://www.niigata-keishinkai.com>

利用者様の目指す生活を汲みとって支える。

#### ■就職の理由

進学する時、介護の仕事は漠然としかわかりませんでした。母に勧められたのですが、保育園の頃、将来の夢を「看護師」と言っていたらしいんです。その母も事務の仕事からデイサービスに転職。娘も、文化祭の「自分の12年後」という粘土作品で介護福祉士を作ってくれました。小さい頃から何度か施設に來たりしてましたから。親子三代で介護業界、ですかね。

#### ■仕事のポイント

今はケアマネ兼ブロック長。ケアマネとしては、利用者様のめざす生活実現を少しでも支えたい。ブロック長としての現場の仕事が主なのですが、立てたプランの背景にある根拠、「こういうことをめざしているの、こういうしたい」とスタッフに上手に説明していきたいですね。自分だけわかっていればいい、ではダメ。仕事がたんなる作業にならないよう、意識しています。

#### ■忘れられないこと

ここでは看取り介護もしています。担当した利用者様で、もうしゃべれなくなった方がいらつしやいました。それまでの言動からきつと望んでおられる、と思つて、最後は自宅にお帰りにする支援をさせて頂きました。車椅子でお連れしたのですが、施設にいた時と表情が全然違うのです。自分の家にいると判つておられることが伝わつて、やはりできることは全てやつてあげたい、と強く思うようになりました。

#### ■今後の自分

いかなる場合でもあわてず、丁寧に介護する。日々、安心して穏やかに暮らせるよう、全体で介護して行きたいです。職場では上の立場なので、働きやすい環境を作りたいですね。

# 第23回新潟県老人福祉施設研究大会

第1日目 9月26日（水）全体会



今年度は「共に生きる」－「人」－「信頼」をテーマに湯沢町（第4ブロック部会）にあるNASPAニューオータニで開催し、439名の方にご参加いただきました。



オープニングを石月誠人さんのピアノ演奏で飾っていただきました。



会長表彰は、185名の方が受賞されました。勤続15年おめでとうございます。

## 記念講演Ⅰ

「生きがいの創造 ～スピリチュアルな科学研究から考察する、前向きに生きるための思考法とは？」

経営心理学者 飯田史彦氏

## 記念講演Ⅱ

「福祉施設経営における自立支援介護の重要性」

東洋大学ライフデザイン学部  
准教授 高野龍昭氏

## 研究大会を終えて



実行委員長

小山 俊樹

養護老人ホーム  
妻有荘 園長

会場を流れるピアノの旋律。ざわめいていた会場は一瞬にして心地よい芸術の香漂う空間へと変わり、出席者の感動を誘いました。NASPAニューオータニ鳳凰の間、研究大会の開幕を飾った石月誠人さん（24歳 高機能自閉症）のピアノ演奏はまさに圧巻でありました。

式典終了後の記念講演Ⅰでは、メンタルヘルスを専門とする経営心理学者、飯田史彦先生から「人生を前向きに生きるために役立つものの考え方」を、そして講演Ⅱでは、東洋大学准教授、高野龍昭先生から「高齢者の自立支援の重要性」についてしっかりと学ぶことが出来ました。

2日目の分科会では、それぞれ5つのテーマに分れ、講演、グループワーク、発表等々により考察はより深まり、なかなか無い貴重な勉強の機会となりました。

研究大会の実行委員長という大役を仰せつかり、緊張と不安で当日を迎えることとなった私でしたが、準備の段階から色々な機会で多くの方々と関わり、知り合いになれたことは、とても勉強になると同時に大きな財産となりました。

理事の皆さんの連携と協力体制、そのチームワークの良さに助けられ、何とか無事に終わることが出来ました。ご協力を頂きました多くの皆さんに心より感謝と御礼を申し上げます。

## 第2日目 9月27日(木) 分科会

### 第1 分科会

#### 特別養護老人ホームの更なる取り組み「我が事・丸ごと」の地域福祉推進 ～「地域共生社会」における推進役としての施設の役割と具体的な方策・提案～



服部万里子 氏

第1分科会では、特別養護老人ホームの更なる取り組み「我が事・丸ごと」の地域福祉推進 ～「地域共生社会」における推進役としての施設の役割と具体的な方策・提案～ と題し、服部メディカル研究所の服部万里子氏と全国老施協の武藤岳人氏より講演をいただくとともに、特別養護老人ホーム而今桜の皆様より事例報告をしていただきました。地域共生社会の実現に向けてとはいえ、まだはっきりとした方向性や具体的な内容が見えてこない中で、老施協の役割であるとか、福祉施設として地域における拠点としての役割などについて、学ぶ機会になったと思います。

運営副責任者 角屋憲昭

### 第2 分科会

#### 伴走型介護の確立とエビデンスに基づくケアの実践

##### ～科学的介護のデータベース化とエビデンスにもとづく評価指標の確立のために～



根岸広英 氏

第2分科会では、ご利用者、ご家族の皆様にご満足いただける高品質サービスの提供について、自立支援介護を実践されている株式会社サンケイビルウェルケア運営支援部の根岸広英氏から「根拠に基づくケアの実践」をテーマにご講演いただきました。介護保険サービスの現状と介護の本質について、実践を交えたご講義をいただきました。また、事例発表では、自立支援の取り組みをはじめ、認知症ケア、看取り介護など、ご利用者の望む将来像や状態像に基づき、それぞれが願う自立を叶える伴走型自立支援を進めていくための参考となる内容となりました。大変多くの皆様からご参加いただき盛況のうちに終えることができました。分科会運営につきましてご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

運営責任者 松田宏基

### 第3 分科会

#### 介護人材の確保・育成・定着・処遇改善に関する取り組み

##### ～現場を支える福祉人材の育成と定着の仕組みづくりと介護ロボット等を活用した安全な介護と業務省力化～



水野敬生 氏

第3分科会では、介護人材の確保・育成・定着・処遇改善に関する取り組みをテーマとし、講義Ⅰでは、社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム統括施設長 水野敬生氏から分科会テーマと「～現場を支える福祉人材の育成と定着の仕組み～」にご講演頂きました。行政説明として新潟県高齢福祉保健課介護人材確保係の佐々木氏より「介護人材確保の現状及び介護ロボット導入支援など県が実施する取り組みについて」を説明していただき、介護人材確保対策や制度について知ることができました。つづいて、5事業所から分科会テーマに関する取り組み事例についての発表が行われ、講義Ⅰの水野氏より発表の講評をしていただき、介護人材の確保に向けて、魅力ある職場づくりや介護ロボット等の活用により介護現場の効率化・可視化・教育の進め方について学ぶことが出来ました。

運営責任者 加藤真由美

### 第4 分科会

#### 地域包括拠点としての在宅サービスの可能性

##### ～いつでも地域で元気に暮らせる仕組み作り～



池内 健 氏

新潟大学脳研究所池内健教授をお招きし、少子高齢化社会における地域包括ケアシステムによる認知症者への支援と認知症予防についてご講演頂きました。また、午後からは住み慣れた地域で安心して暮らせるような見守りや支援体制についての活動状況や今後の課題について5施設の皆様から事例発表して頂きました。最後、池内教授の総評まで、大変慌ただしい中充実した分科会であったと感じております。これもひとえに、スタッフの皆様のご協力の賜物と大変感謝しております。

運営責任者 井野端 司

### 第5 分科会

#### 地域と繋がる養護・軽費・ケアハウスの取り組み

##### ～存在価値の再確認とサステナブルな方向性・行動指針～



大山知子 氏

「地域と繋がる養護・軽費・ケアハウスの取り組み～存在価値の再確認とサステナブルな方向性・行動指針～」と題し、6題の事例発表及びそれに対する講評が行われました。全国老人福祉施設協議会養護老人ホーム部会長（関東ブロック老人福祉施設連絡協議会副会長、栃木県老人福祉施設協議会会長）の大山知子氏を講師にお招きし、実例をベースに現代社会のニーズを踏まえた、専門的支援機能の強化、伴走型支援(介護)、ソーシャルワーク機能、施設機能の向上、アウトリーチ含む地域包括ケアシステムのあり方について学びました。

運営責任者 菅原正克

# 平成30年度 関東ブロックカンントリーミーティング in 新潟

## 第1日目 11月26日(月)・第2日目 11月27日(火)

11月26日～27日に長岡市・ホテルニューオータニ長岡において「平成30年度関東ブロックカンントリーミーティングin新潟」が開催されました。今年度は「介護・福祉が未来を拓く～老施協ビジョン2035～」をテーマに、関東ブロック各都県より260名を超える方々からの参加を得ることができました。介護を支える当事者世代が未来型介護・福祉を提案するために設定された6つのバズワードを手掛かりにしてグループに分かれ、大いに介護・福祉の現在と未来について議論いたしました。全体会では、ブロック独自企画として長岡在住のドキュメンタリー映画監督・小林茂氏から「ぼくたちは生きているのだ」と題して、これまでの映画作品を観ながら、人生の本質とは何か、福祉とは何かを私たちに問いかけてくるご講演をいただきました。

2年前に引き続き新潟での開催となりましたが、県内からも多くの方々からご参加いただきました。ご参加いただいた方々、ご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。

関東ブロックカンントリーミーティング実行委員長 遠藤真一



全国老施協 21世紀委員長 徳永 憲威 氏



新潟県21世紀委員の皆様ありがとうございました。

## 自立支援介護で「日中おむつゼロ達成報告・基調講演」を終えて 10月18日(木)

地域貢献事業として10月18日(木)新潟市北区文化会館に於いて竹内孝仁先生を講師に迎え開催致しました。自立支援介護は、介護予防や健康寿命を延ばせるセオリーが詰まったもので、健康で自立した方から要介護状態にある方まで、どのステージにあっても活用できるものです。それは腸内環境と免疫力の関係からも確かであり、そのことを伝えたいと思いました。

開演中、なるほどと感じて貰えている様子が伺え、少しホッとした次第です。

時折ユーモアをまじえ語られる竹内先生の基調講演は、わかり易くたいへん役立つものでした。来場者から「とてもためになる内容で来た甲斐があった」と感想を頂いています。来場者数は、235名でした。

少子高齢化の中、私たちの果たすべき役割を改めて確認できた気がします。

特別養護老人ホームなぎさの里  
施設長 半田 浩久



竹内孝仁 氏

平成26年度より「介護力向上講習会」を継続受講。平成29年度の取り組みで、新潟県で2番目となる日中おむつ使用率0%を達成。

# 施設(うち)の一品

## 第1ブロック 特別養護老人ホームうずらはし

うずらはしでは、毎月季節の献立の日と郷土料理を提供する日があります。季節感を取り入れた料理や、全国各地の珍しい料理を提供していますが、五泉市の郷土料理で喜ばれるのが、五泉市の名産である帛乙女を使った『いもみそ』です。里芋を味噌で煮ただけの簡単な料理ですが、ご飯の友に最適です。秋の収穫を終えてお月見の頃によく作られていたそうです。ゆずがとても良いアクセントになっています。「ご飯が進むねえ。」「よく家で作ったもんだ。」と皆さんとても喜ばれます。

また、施設の名前「うずらはし」にちなんだオリジナル料理として考案された『車麩のうずら煮』と『うずらカレー』もご紹介します。どちらも「うずらの卵」を料理に取り入れたものですが、由来を話して提供すると「なるほどねえ」と笑顔で召し上がってくださいます。これからも新しいオリジナルメニューを考案し、利用者の皆様に楽しんで頂けるような料理を提供していきたいと思います。(佐藤桃子(管理栄養士))



車麩のうずら煮、うずらカレー、いもみそ  
(紹介者: 池田 光)

## 第5ブロック 特別養護老人ホームむつみ荘

むつみ荘は、柏崎市にあります。たいめしは、シンプルなメニューですが味は鯛のうまみで抜群です。柿は、地元新道の柿を市内の柿組合から頂きました。

(栄養係長 山崎正則(管理栄養士))

### たいめし

| 材料名  | 数量(g) |
|------|-------|
| 米    | 50    |
| 鯛正肉  | 20    |
| だし汁  | 55    |
| 塩    | 0.3   |
| 酒    | 7     |
| 薄口醤油 | 3     |
| 鯛のがら |       |
| 大葉   |       |

- ①米を研いでおく。
  - ②鯛のがらを良く洗い、オーブンで焼く。
  - ③だし汁を②のがらでとる。
  - ④鯛正肉はオーブンで焼く。焼いた身をほぐしておく。
  - ⑤①の米を③のだし汁、酒、塩、薄口醤油で炊く。
  - ⑥炊きあがったごはん④の鯛を混ぜ合わせる。
  - ⑦刻んだ大葉を飾る。
- ※熱量229kcal 蛋白質7.6g 塩分0.8g

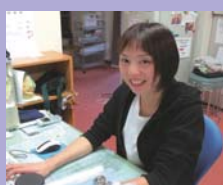


鯛めし、カニ入り卵焼き、豚汁、柿、ヨーグルト  
(紹介者: 山田 宥人)

## 「ONの私」



## 「OFFの私」



第2ブロック  
特別養護老人ホームこぐち苑  
介護支援専門員

瀧澤有香里さん

特別養護老人ホームで介護支援専門員をしています。学生時代から憧れていたこの職種に就くことができ、毎日やりがいを感じています。

私は小学校から社会人になってからもずっと大好きなバスケットを続けてきました。妊娠や出産を機に、少しスポーツから遠ざかっていましたが、年々衰えていく体が悔しくて、時間をみてランニングをやり始めたところ楽しくてやめられなくなりました。陸上クラブに入っている娘達と一緒に走ったり大会に参加したり、主人とはソフトバレーのチームに属し、週に数回練習をしています。仕事もプライベートも手を抜かずに、常に全力でこの一瞬一瞬を楽しみたいと思っています。



次女と親子マラソンで準優勝!!!長女と三女は応援団♥



第3ブロック  
特別養護老人ホームさかえの里  
介護職員

岩崎大樹さん

皆さんは何か運動をしていますか？ 私は仕事がOFFの日は、街中や海岸沿い、時には山道を走っています。もともとダイエットの為に始めたマラソンですが今ははまってしまい、年に数回は大会にも参加しています。10km、ハーフ、フル、そしてそれを超えるウルトラマラソンと呼ばれる主に100kmの距離を走る大会にも出ています。

周囲からは「休みの日にわざわざ何で辛い思いをして走るの～」なんて言われますが、ゴールをした時の感動と達成感は距離が長ければ長いほど大きいものがあります。

皆さんも何か始めてみませんか？



えちご・くびき野100kmマラソン完走!!!

(紹介者: 中澤 葉子)

# いつでも誰でも 集える・暮らせる まほろばの里川治を目指して

特別養護老人ホームまほろばの里川治 施設長

**高野 朋子さん**

●施設長 カラー ラム●



特別養護老人ホームまほろばの里川治は、十日町市川治の工業団地の一面に平成24年5月に開設し、6年目を迎え、昨年4月にはまほろばの里の隣にサービス付き高齢者向け住宅ヴィラあかし49名の施設を開設致しました。まほろばの里川治には特養7ユニット70名、短期入所2ユニット20名、通所介護30名、訪問介護、居宅介護支援事業所の5つの事業の運営をさせていただいております。複数の事業を展開することで、状態に合わせたサービスをご利用いただける福祉エリアとなりました。

施設名にあります「まほろば」という言葉には、素晴らしい場所、住みやすい場所という意味があります。私達職員はそんな、素晴らしく住みやすい場所を作っていけるように、日々いろいろな取り組みを行っております。

苗場カフェまほろば(認知症カフェ)を5月～12月の間毎月1回実施し、8月には納涼祭を開催、また定期的に学生などの実習生を受け入れ、開かれた施設づくり、未来の福祉人を育てる一端を担わせていただいております。

そのようなことを実施できるのも、当職員の理解、協力があることであります。ご利用されているお客様を大切にしたいという優しい気持ちを多く持っている職員がまほろばの里川治にはたくさんおります。

時には、本気でぶつかるような議論はありますが、それはまほろばの里川治を良くしていきたいという想いの表れだと思っています。私は、そんな職場で仕事ができるのを誇りに思っています。今後も職員一丸となって、素晴らしいと言っていただけるように頑張っております。



中庭で家庭菜園



苗場カフェまほろばでご家族・地域の方と交流



未来の医療や福祉に携わる若者達



地域の高校生、福祉について学んでいます



毎年、納涼祭は大盛り上がり！



地域の子供神輿、沢山の子供達が来てくれました

|        |               |
|--------|---------------|
| 事業所所在地 | 新潟県十日町市川治4525 |
| 運営事業者  | 社会福祉法人 苗場福祉会  |
| 事業所の種類 | 特別養護老人ホーム 70名 |

連絡先等

**TEL 025-761-7333**  
FAX 025-752-7811

発行所 一般社団法人 新潟県老人福祉施設協議会  
新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ2F  
電話 025-281-5534 発行人 高橋是司  
にいがたろうしきょう NEWS 平成30年12月20日発行